

空白の20時間

—原爆被爆惨状絵図—



ソ連元大統領ゴルバチョフ氏に友の会平和賞を渡す深堀会長

平成7年11月10日 福岡市





発刊の言葉

長崎県被爆者手帳友の会

会長 深堀 勝一

それは、被爆50周年を迎える原爆忌前のことでした。

N.H.K.が、“原爆の長崎”と云うタイトルで、被爆から20時間を経過した長崎市を西部管区から派遣した山端 庸介氏の写真を持って、全国に放映しておりました。

そこで、これを見ていた私が「こんなものじゃない」原爆と云うものは、投下されてから数時間が、大変なもので「この写真を持って、長崎原爆と報道されては困る」と、つぶやいておりました。

ところが、これを見ていた前・本島 等市長が、私がつぶやいていたようなことを記者団にコメントしておりました。

そこで、私が長崎は広島と違って、軍需産業のウエイトがはるかに高かったので、カメラの携帯を厳禁されており、被爆直後の写真は、全然なかったわけでした。

それならば、被爆50年後の今日、被爆者の脳りにやきついているあの光景を絵画にしたらよいと思ひ、これは、私達県内最大の被爆者団体である友の会でなければ出来ないのだと思ひ、1年数か月の歳月をかけて実行したのでした。

平成9年2月25日

まなこ 閉づれば

今も 脳りに まざまざと

よみがえりくる

あの 地獄絵図

被爆惨状絵図の全容

番号	タイトル	作者	被爆場所	頁
1	あっ閃光だ!!	深堀 勝一	三菱兵器大橋工場 (1380米)	9
2	顔面に負傷した女子挺身隊	〃	〃	11
3	三菱兵器大橋工場第三門につめかけた負傷者	〃	〃	13
4	救援列車第3号	〃	長崎市西町 (1400米)	15
5	原爆投下被害を偵察するグラマンF6F	〃	長崎市西町 (1450米)	17
6	救援列車第3号を見送る道の尾住民	〃	長崎市道の尾 (約3200米)	19
7	爆心地の8月9日午後10時	島田 運・深堀 勝一	長崎市松山町 (0米)	21
8	救援隊員に間違えられて	〃	〃	23
9	母にカンフルを打たれて	土岐えみ子・深堀 勝一	長崎市城山町 (0米)	25
10	タンカに乗せられて	〃	〃	29
11	660の棺桶が	水江 オケ・長谷川 誠	長崎市銭座町 (1760米)	31
12	私の夫が紅蓮の炎に	〃	〃	33
13	下の川からみた被災状況	〃	長崎市松山町 (0米)	35
14	660の遺体焼却で全市が火事のようなだった	〃	長崎市銭座町 (1760米)	37
15	生きながら焼かれた少女	村里 鶴枝・長谷川 誠	〃	39
16	銭座町山の手へ逃げて行く被災者達	下谷富太郎	茂里町兵器	41
17	目覚町から山の手へ逃げて行く被災者達	〃	〃	43
18	浜平町山の手附近でいこう被災者達	〃	〃	45
19	昭和町から道の尾駅へ向けて急ぐ被災者	大平 力男	三菱兵器大橋工場	47
20	廃墟と化した浦上天主堂	深堀 勇	長崎市上野町	49

番号	タイトル	作者	被爆場所	頁
21	私の手で焼いたお友達	大塚美智子	長崎市城山町	51
22	大村海軍病院第10病棟	深堀 勝一・村崎 圭子		53
23	私の大村海軍病院日記	山本 帝子	市内竹之久保町3丁目自宅	55
24	防空壕でのお友達	山本 帝子	〃	57
25	火の玉（あっ太陽が落ちた!!）	水江オケ	実家横道の田の草取り中	59
26	五輪橋の上で	石原 公明	長崎三菱製鋼所第1工場内にて（現茂里町）	61
27	可愛い私の妹が	永田マツエ	（妹）永田千里、城山町1丁目自宅にて被爆	63
28	私の従妹 徳永りょう子さんも死んでいた	〃		65
29	私の姉はたんぽの中で死んでいた!!	〃		67
30	原爆投下機に対して対空砲火陣は、唯、沈黙していた。	土岐えみ子・深堀 勝一		69
31	アラッ!!落下傘が落ちて来る	土岐えみ子・本多 博子	城山国民学校	71
32	原爆投下2ヶ月前に原爆の講習会が	深堀 勝一	昭和20年6月頃	73
33	独、V I、V IIのロケット兵器、実験が長崎で!!	深堀 勝一	昭和20年4月頃	75
34	昭和20年8月1日、B24、B25による長崎大爆撃	深堀 勝一		77
35	降伏ビラが落ちて来た	早川 久人・辻原津由子		79
36	七高生大いに暴れる	深堀 勝一	三菱兵器大橋工場にて	81
37	B29 黒煙を吐いて、長崎上空を!	深堀 勝一・森 藤治	長崎市坂本町にて	83
38	輸送の産業戦士（馬ちゃん）浦上駅前に戦死する	金原 勇・水江オケ・浦田健一	浦上駅前にて	85
39	さげすんでいた朝鮮人に助けられて	深堀 勝一	三菱兵器大橋工場にて	87
40	浦上天主堂の存置運動についての経過	深堀 勝一	大浦天主堂にて（山口大司教訪問）	89
41	大学病院の中で私は生きていた	山口 国男	S20. 8. 9 大学病院内で	91
42	長崎商業校で、賤津先生助けて!!	水江オケ・故 賤津勝一	S20. 8. 9 校庭にて	93

番号	タイトル	作者	被爆場所	頁
43	私達は岩郷の防空壕で助かった	犬塚万智子・井上 礼子	S 20. 8. 9 落下時	95
44	もゆる長崎駅	小溝昭七郎	諫早市永田町	97
45	爆心地進入の関所、井樋の口	水江 オケ	長崎市天神町	99
46	川の中に飛びこんだとき原爆が！	片岡 重昭	S 20. 8. 9 当時の状況	101
47	浦上川大橋のほとりで	浦田 健一	S 20. 8. 9 三菱造船所より 自宅へ	103
48	大村海軍工廠爆撃のため、B29数編隊式見上空通過!!	早川 久人	S 19.10月頃 式見にて	105
49	兵役忌避工作は成功すれど、原爆の運命は悲し	深堀 勝一		107
50	大村海軍病院のベッドの中で、人類は必ず滅亡すると	〃	S 20. 8. 9 大村病院	109
51	私は長崎警察署の望楼から、ただひとり原子雲を見た。	嘉松半四郎	S 20. 8. 9 長崎署より	111
52	私は爆心地（大学病院）附近で野宿した。	平山 兼則	S 20. 8.11～12 の状況	113
53	お母さんの金の指輪 ゴルフパットとなりて	深堀 勝一		115
54	赤迫トンネルの前で私が見たもの	山川 米雄	S 20. 8. 9 兵器 赤迫トンネル内で	117
55	清水町 照円寺の下で	山川 米雄	S 20. 8. 9 兵器 赤迫トンネル前面で	119
56	常在寺（川棚町）に収容された被爆者	神木 三郎	S 20. 8.10	121
57	ガスタンク爆発のために爆死した人々	水江オケ・深堀勝一・下谷富太郎	S 20. 8.10	123
58	諫早駅前における救援活動	諫早市 田嶋 義治	S 20. 8. 9 1,500～	125
59	48年ぶりに執刀医発見されて	安田 泰華	S 21. 9.15	127
60	開戦の日 12月8日の思い出	深堀 勝一	S 16.12. 8 御厨駅にて負傷	129
61	爆心地慰霊碑撤去は何の爲か	山下 弘文	H 8. 9.19	131
62	慰霊碑撤去は許されん	宮部マチヨ	H 8. 9.19	133
63	私の主人が死んだのよ!! 遺族年金を申請してみたら!!	深堀 勝一	H 3年頃のこと	135
64	長崎駅からみたガスタンク	葉山 利幸	S 20. 8. 9	137



